

第2回 伊達市総合計画審議会 議事要旨

開催日時	令和4年3月16日（水）13：30～14：30	
開催場所	伊達市役所 東棟 4階 401・402 多目的会議室	
委員	出席	内貴会長、佐々木委員、名谷委員、佐藤(貞)委員、大友委員、渡邊委員、佐藤(由)委員、平野委員、山田委員、堀委員、須藤委員、阿久津委員、滝澤委員、菅野(栄)委員、五十嵐委員、酒井委員、小野委員、菅野(照)委員
	欠席	なし
市出席者	穴戸未来政策部長、渡邊総合政策課長、大波総合政策課主幹、高橋経営戦略室長、安藤主査、佐藤主任主事	
報告事項	(1) 市民アンケート調査結果について (2) 第2次総合計画後期基本計画達成状況調査結果について (3) トップインタビューについて	
協議事項	(1) 第3次総合計画の構成イメージについて (2) 今後の策定スケジュールについて	
会議資料	資料1 市民・中学生アンケート調査結果 資料2 第2次総合計画後期基本計画達成状況調査結果 資料3 第3次総合計画に掲げる5つの重点項目 資料4 第3次総合計画の構成イメージ（案） 資料5 令和4年 第3次総合計画策定スケジュール	

発言等	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会 部 長 事務局 内貴会長 事務局 内貴会長	司会進行：渡邊課長 1 開 会 「第2回伊達市総合計画審議会」を開催します。 委嘱状交付(人事異動に伴う変更) 菅野 栄寿委員に部長から委嘱状を交付。 2 経過報告 第1回審議会(令和3年10月13日開催)以降の主な経過について、別紙「伊達市第3次総合計画策定に係る進捗状況について」により報告。 議事進行：内貴会長 3 報告事項 議事内容が関連しますので、一括して事務局より説明を求めます。 資料説明：大波主幹 【(1) 市民アンケート調査結果について】 資料1「市民・中学生アンケート調査結果」 令和3年9月に実施したアンケートの調査結果概要について、市への愛着度、定住意向及び現在の取り組みに対する満足度等を中心に説明。 【(2) 第2次総合計画後期基本計画達成状況調査結果について】 資料2「第2次総合計画後期基本計画達成状況調査結果」 第2次総合計画に掲げる192の「手段」に対する庁内評価結果概要を、5政策及び特別対策ごとに説明。 【(3) トップインタビューについて】 資料3「第3次総合計画に掲げる5つの重点項目」 令和3年10月に実施したトップインタビューから整理した、第3次総合計画の柱となる5つの重点項目について説明。 事前に頂戴している質問や御意見に対して、事務局からの回答もあったところですが、加えて質問や御意見等があればお願いします。

	(質疑等なし)
内貴会長	議事進行：内貴会長 4 協議事項 議事内容が関連しますので、一括して事務局より説明を求めます。
事務局	資料説明：高橋室長 【(1) 第3次総合計画の構成イメージについて】 資料4 「第3次総合計画の構成イメージ（案）」 読んで分かりやすい計画書としての策定を目指すため、基本構想等の構成要素やレイアウトについて説明。 【(2) 今後の策定スケジュールについて】 資料5 「令和4年 第3次総合計画策定スケジュール」 12月定例会への上程を目指した計画策定に関する作業工程を分野別に説明。
内貴会長	只今の説明について、何か質疑、御意見等があればお願いします。 (質疑等なし)
内貴会長	計画書の構成案について、前回の説明でも、地方創生の取り組みをまとめた伊達な地域創生戦略を総合計画に取り込むという整理であった。人口推計・シミュレーションについては、創生戦略に整理しているので、そちらとの整合性を取りながら進めるということを確認できた。総合計画が市の取り組み全体を網羅する基本的な計画なので、その整理でよろしいと思う。 基本計画も現在よりも簡素化するということで、指標や市民の役割は記載しないということで良いか？
事務局	基本計画の構成について資料にお示ししたのは、現時点での例であり、具体的な記載項目については、引き続き検討してまいりたい。
内貴会長	分野別意見交換会等も開催された経過があり、それぞれの分野の意見が反映されたものが、この審議会の審議対象となってくる。

司 会	その他、質疑等無いようですので、議事の全てを終了として、これをもって議長の任を解かせて頂きます。進行を司会にお返しします。
部 長	5 その他 最後に、「その他」として委員の皆様から何かございませんでしょうか？ なし
内貴会長	皆様から事前に頂戴した意見や質問に対する事務局回答について、一部補足させていただく。次回以降の審議にお役立ていただきたい。 中山間地と都市部との格差・不公平感に触れている御意見があった。本市では、梁川地域が今年度から新たに過疎地域に指定された。12月に新たな過疎計画を策定したところであり、現在、過疎地域を対象に、過疎債を活用した新たな支援策を盛り込んだ来年度予算案を議会に上程中である。支援策の具体的な内容としては、高校生等の通学費一部補助、過疎地域への移住に関する支援のかさ上げ等である。 また、地域自治組織に対する支援強化の一環として、各総合支所に地域振興担当及び生涯学習指導員を、それぞれ原則1名配置するという組織の見直しを行う予定である。 これらの支援強化の成果が、次回審議までにどの程度、表れているかは未知数だが、それらも含めて、基本構想や基本計画等に関する審議の中で御意見を賜りたい。
	過疎指定について、以前、大分県で一村一品運動に取り組んだことがある。当時は、過疎地域への指定はマイナスなイメージが強かったことから、それを払拭するために地方の活力をPRするために取り組んだ。この取り組みはその後、ふるさと創生事業等に発展している。 しかし、今や過疎は、マイナスなイメージばかりということではない。人口は減少傾向にあっても、豊かな自然や空間があり、先進的な取り組みが行われ得る立派な地域であるという視点で、過疎地域の指定を前向きに捉え、地域住民の皆様にも胸を張って取り組んでいただけるとよろしいと思う。

事務局	事務局より事務連絡 本審議会の議事録については、各委員確認の後、ホームページで公表いたします。
司 会	6 閉 会 これをもちまして、第2回伊達市総合計画審議会を閉会いたします。本日は長時間にわたり、ありがとうございました。 閉会＜14 時 30 分＞